

責任を社員に 押し付けるな！

—第15回全国大会に向けて—



ひろしま

郵政産業労働者
ユニオン広島支部
(広島郵便局内)

郵政ユニオンは、7月3・4日、第15回定期全国大会を開催します。

経団連は26春闘で、定期昇給を含むベアが5%を超えたと公表していますが、物価の上昇に賃金の伸びが追いついていません。ましてや郵政はベア1.9%、非正規社員にいたってはまったくの「ゼロ回答」でした。

会社は、ベア要求に応えられない根拠に郵便・物流の厳しい経営環境を挙げていますが、そもそも民営化以前から大都市

部など収益を生み出す地域と、過疎地域など利用者が少ない地域を含めて「あまねく公平に」を基本とする、ユニバーサルサービスを提供しているのが郵便事業です。

それを会社は、赤字をことさらに強調し、その責任をすべて社員に押し付け、処遇改善に背を向け続けてきました。さらに、今後集配拠点の統廃合や新人事制度の見直しで処遇改善を目論んでいます。

ユニバーサルサービスの提供義務が課されている郵便局で、サービスの安定的提供に向け労働力を確保する上でも、社員の処遇のあり方は大変重要です。郵政ユニオンはきちんとした要員と処遇の改善を求め、

本来のあるべきユニバーサルサービスが提供できる職場をめざし、今大会で闘う方針を確立していきます。

組合員の声 「みらい講座」に参加して

有意義な二日間でした。とりわけ、中国地本として企画した組合活動をする中で実現したいこと、悩んでいることなどを、グループディスカッションするテーマが良かったと思います。4人1班で、それぞれの役割を持たせ、意見を出し、まとめるという組合組織を入れた上に、チームの連携がとれる流れが非常に好感を持てた事が印象的でした。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう！ 会社は組合事務室を貸与せよ！